

**平成21年度東海プラ協推進会議(東海ブロック農業用使用済みプラスチック適正処理推進協議会)開催の概要について**

東海プラ協では、平成21年度の活動計画等を協議するため、平成21年8月18日名古屋能楽堂で東海ブロック農業用使用済みプラスチック適正処理推進会議を開催しました。竹谷会長の挨拶、会員からの話題提供、農業用フィルムサイクル促進協会の麻生部長から農業用使用済みプラスチックのリサイクルに向けた活動の紹介など、再生処理向上に向けた意見交換が行われたのち、平成21年度の活動計画等が承認されました。

**挨拶(竹谷会長)**

あいさつと併せて、協議会広報 No. 12 に掲載された「農業廃プラの適正に係る出口市場の動向」を引用し、国内外の経済情勢を反映した再生処理業界の情勢と東海3県の再生処理の状況、全国の再生処理に関する取組等についてご紹介いただきました。その内容は以下の通り。

○農業用廃プラをめぐる情勢については、今回配布した資料(1-2)に記載されているとおり、焼却処理は減少し、再生処理が進んでいる。

○再生処理率は九州地域が最も進んでいるが、東海では全国並で推移している。

○今後、違法な処理を減らし再生処理率を高めるには、確信犯の排出事業者への対応として警察力を活用しながら進めることが必要。

○再生処理率は、東海3県では全国12位の排出量である愛知県が最も進んでいるが、一方で岐阜県が低迷していることが気になっている。

○農ビフィルムの排出量は9年度7千トだったものが19年度には1/3まで減少したことになっているが、農ビリサイクル促進協会の出荷量データによれば1/2程度となっており、排出量の推計方法を精査する必要がある。これに対して農ポリは、横ばいで推移している。一方その他プラスチックは増えている。

○プラスチック種類毎の供給量に対する回収率で見ると、農ポリの回収率が低い、今後の協議会活動の課題であるとの認識している。

**議事概要****(1) 農業用使用済みプラスチック適正処理に係る情勢について****① 生分解性プラスチックの廃掃法上の扱いについて(竹谷会長)**

(社)施設園芸協会発行「農業用使用済みプラスチック適正処理推進の手引き」P11により、生分解性プラスチックの廃掃法上の扱いについて、環境省の見解が紹介されました。これまでほ場鋤き込みが不十分で破片が風で舞い当該ほ場周辺に迷惑をかけるなど、違法処理の事例が各地で存在することから、産業廃棄物として適正処理をするため、十分なすき込み等を行うよう注意喚起されました。

## ② 産地において農ポリの回収処理が停滞している要因について

(JA あいち経済連 伊藤課長補佐)

平成20年度豊橋市農業用使用済プラスチック協議会の回収実績について紹介があり、豊橋市では、使用済みプラスチックの回収は、事前申込数量に基づき、計画を立て回収日を設定して回収を行っていること、農ポリの回収率が低迷している理由として長期展張の農ポリが普及したことが要因であるとの見識が示されました。



JA あいち経済連 伊藤氏

### (2) 再生処理比率の向上に向けた取り組みについて

#### ①農ビ・農ポリのリサイクルの現状 (農業用フィルムリサイクル促進協会)

農ビ・農ポリの両者のウェイトが拮抗してきたことを背景として農業用フィルムリサイクル促進協会と改名した経緯について、最近の農ビリサイクル製品の普及状況並びに協会組織の改編について情報提供がありました。



農業用フィルムリサイクル促進協会麻生氏

#### ②20年に行った現地調査等の概要について (竹谷会長)

JA豊橋市管内で実施した回収施設の現地見学とセミナーの概要、20年度の現地調査としてジャパンエナジー株式会社での油化处理の聞き取り内容について説明がありました。(詳細については、東海プラ協 HP に掲載中)

#### ③各地域の再生処理等の取組について (東海3県)

各県から再生処理に向けた取組について情報提供がありました。岐阜県からは、埋立て処理の比率が高い西濃地域の状況について、生産者側の利便性もあって身近な処理業者(再生処理でない)に願う傾向が強いこと、今後については処理先を模索中であることについて報告がありました。

また、愛知県から農業用使用済プラスチック処理のマニフェストにおいて一部の数量しか報告がされていない状況について問題提起がありました。

#### ④意見交換の概要

##### ○農業用使用済プラスチック処理のマニフェスト発行に伴う報告について

(竹谷会長)

農業用使用済プラスチックの処理のマニフェストは、排出者(農協に事務委任)に報告が義務づけられているので、取り組むよう指導してきたが、行政を含む関係団体は適正に実行されているか、検証する必要がある。

##### ○生産者が直接、処理業者へ持ち込む件について

(愛知県産業廃棄物協会)

三河地域では農協経由でなく直接事業者へ搬入される事例があること、生産者、農協の意向と処理業者の意向と整合が取れていない印象があるとの問題提起があった。



愛知県産業廃棄物協会 中谷氏

### (3) 平成21年度活動計画等について

事務局から再生処理の比率の向上を目指す平成21年度の活動計画等(20年度活動実績・決算及び21年度活動計画)の提案が承認されました。